

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	極東産機(株)神岡工場 大改造プロジェクト	階数	地上2F
建設地	兵庫県たつの市神岡町東鶯崎字天神380番2 他26筆	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2022/4/30 竣工	評価の実施日	2022/4/18
敷地面積	11,645 m <sup>2</sup>	作成者	張田 裕之
建築面積	3,376 m <sup>2</sup>	確認日	2022/4/19
延床面積	5,735 m <sup>2</sup>	確認者	頃安 雅樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.0</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■建設 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト</li> </ul> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.6</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.1</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。                  主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。                  ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>事務室の天井高2.7m以上                  リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上、自動販売機設置</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BEIm=0.80</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率が、一般的な建物(参照値)に対して32%。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される